NEWS RELEASE

名古屋市東区東桜一丁目 1 番 1 号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

2024 年 7 月 18 日

各 位

日本特殊陶業株式会社

新会社「株式会社 Niterra AQUA」設立のお知らせ
～センサ技術を応用し水質管理に着目した陸上養殖事業へ挑戦～

Niterra グループ 日本特殊陶業株式会社（社長：川合 尊、本社：名古屋市東区、以下「日本特殊陶業」）は、2024 年 7 月に陸上養殖事業に関する新会社「株式会社 Niterra AQUA」（代表取締役：大矢 誠二、本社：愛知県小牧市、以下「Niterra AQUA」）を設立しましたのでお知らせします。

●新会社設立の背景

日本特殊陶業は、「2030 長期経営計画 日特 BX」において非内燃機関事業の比率を高める“事業ポートフォリオ転換”を掲げ、その実現のための施策として新規事業の創出に取り組んでいます。さまざまな取り組みの中で、世界が抱える課題に向き合い、よりよい社会の実現に寄与する事業にチャレンジしています。

このたび、世界が抱える課題である食糧問題、その中でも水産資源に焦点をあて、持続可能な社会を実現することに貢献できる事業として、これまで当社で培ってきたセンサ技術を応用し、水質管理に着目した「えび陸上養殖事業」への挑戦を決めました。事業化をさらに加速させるため、独立自営の精神の元、スピード感と柔軟性を持ち、夢を語り、それを実現したい強い意志を持つメンバーでの新会社設立に至りました。

●新会社の事業概要

Niterra AQUA は、陸上養殖の課題である水質管理に着目し、水質をセンシングすることで水質の状態を把握し、その状態に合わせた養殖作業指示を行うことで、陸上養殖未経験の顧客においても「えび陸上養殖」を開始できるトータルソリューションシステムを提供予定です。本システムは、工場、倉庫等の空きスペースを有効活用したい顧客に設置できる大きさであることも大きな特徴です。自社資産の有効活用により、イニシャルコストを抑えた状態で事業を開始することができます。更に、えび陸上養殖のエネルギーコストの多くを占める飼育水の温調コストは、工場排熱、バイオマス熱、温泉熱、太陽光発電等の自社資産があれば、ランニングコストも抑えることが可能になります。また、本システムを使用することで、安心・安全・高鮮度・味設計された「うるみえび」を養殖することができます。

今後の事業展開として、2024 年 10 月以降、協力企業と事業内容の PoC（概念実証：Proof of

名古屋市東区東桜一丁目１番１号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

Concept）を開始する計画で準備を進めています。また、えび以外も含め、陸上養殖水産物のブランド認知度は低いため、持続的な事業とするために、PoC を通じて「うるみえび」のブランド認知活動も同時に進めてまいります。



「うるみえび」：本システムでの徹底した水質管理と育成ノウハウの活用により鮮度と美味しさを実現した国産えび。新鮮で潤いのある味わい深いえびであることを感じていただけるよう名付けた。日本特殊陶業の登録商標。

●新会社の概要

社名	株式会社 Niterra AQUA
本社所在地	愛知県小牧市大字岩崎 2808 番地
代表者	代表取締役　大矢 誠二
事業内容	えびの飼育養殖設備の製造、販売、リース えびの飼育養殖設備の管理システムの制作、販売、リース
会社設立日	2024 年 7 月 4 日
資本金	3 億円
社員数	11 名（2024 年 8 月 1 日時点）

●社名について

日本特殊陶業が Niterra に込めた「地球を輝かせる企業になる」という想いに対し、Niterra AQUA では、「水分野において、Niterra の想いを体現していく企業になる」ことを目指しています。

短中期目標として、AQUAculture（水産養殖）、AQUAponics（水産養殖+水耕栽培）、AQUArium（水族館）分野への広がり、長期目標として、Complete circulation of AQUA（水の完全循環）社会へ貢献していきたいという思いを込めました。

【Niterra AQUA HP】https://niterra-aqua.com/lp/

Niterra
Niterra AQUA

社名ロゴ

●株式会社 Niterra AQUA　代表取締役　大矢 誠二のコメント

私は、長年内燃機関向け部品の事業に携わってきましたが、日本特殊陶業のポートフォリオ転換を直接実現したいという強い想いから、新規事業を志しました。そして、新規事業部門において、持続可能な社会の実現に貢献できる本事業に対し、日本特殊陶業のコーポレートメッセージである「IGNITE YOUR SPIRIT」の情熱を持ち、必ず実現したいという想いを強くしました。想いを叶えるため、えび陸上養殖事業の事業化に向けて邁進していく所存です。

以　上